

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年3月8日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年3月8日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【1号機 原子炉建屋最上階ダスト連続監視モニタのサンプリング用ホースの外れについて】 当社社員が、1号機 原子炉建屋最上階のダスト連続監視モニタの点検を行っていたところ、全4点設置しているモニタのうち、南西側に設置している1点のサンプリング用ホースが途中で外れていることを確認。ホースが外れていたことにより、本来の位置より約21m低い位置の空気を吸引・測定していた。ホースを接続し、接続前後においてダスト濃度に有意な変動がないことを確認。当該ホースについては、2020年12月10日に正常に繋がっていることを確認しており、2020年11月以降、原子炉建屋最上階でガレキに触れる作業は行っていないこと、定期的に飛散防止剤を散布していたこと等からダストが飛散していた可能性は低いものと判断。今後、詳細原因および再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	3月3日
2	<p>【伐採木一時保管エリアH近傍における通信用ケーブル接触について】 協力企業作業員が、伐採木一時保管エリアH近傍の仮設集積場所(木材破砕エリア)にバックホウを乗り入れる際、上空の通信用(PHS)ケーブルに接触し、周辺の支柱1本が傾き、1本が倒れた。原因は、誘導員が誘導中に業務連絡の電話に应答してしまい、誘導が疎かになったものと推定。応急措置として、立入り制限のためのバリケードにより、区画を実施。通信は、一時的に一部の通信不良が発生したものの、他のアンテナ基地でカバーできたことから問題なし。今後、詳細原因および再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	3月3日
3	<p>【電気品危険物倉庫のシャッター扉の開閉不良について】 当社社員が、電気品危険物倉庫のシャッター扉の擦れによる開閉不良を発見。シャッター扉の擦れ箇所に潤滑油を塗布し、開閉することを確認。</p>	GⅢ	2月26日